

<b>交渉情報</b>	<b>NO.56</b>	信越支社郵便事業本部 オペレーション部
JP労組 信越地方本部	2012年11月29日	添付資料: 枚

## ネットワーク再編の暫定実施について

信越支社郵便事業本部オペレーション部は、本日（11月29日）「ネットワーク再編の暫定実施」について地方本部に説明してきました。

- 1 **標記趣旨**は、郵政再生ビジョンの中にあるネットワーク再編について、既存の設備を活用し暫定的に実施するものであり、具体的には新潟中局郵便内務の一部業務を新潟中央局に移管、及び廃止するものです。
- 2 **実施内容**は(1)新潟中局の差立処理を受持統括局である新潟中央局に移管する。(2)深夜勤務を廃止する。(3)ゆうゆう窓口の営業時間を午前8時から午後8時までに変更するとし、実施時期は平成25年4月1日（月）としています。

新潟中局の計画人員の変更は以下の通りです。

		現行	改定	増減 ③ (②-①)
正社員（課長含む）		26.0	21.0	▲5.0
短時間社員		2.0	2.0	—
定数	一般	6.4	4.0	▲2.4
	非番	2.8	0.0	▲2.8

なお、新潟中央局は変更ありません。

- 3 **運送便**は、下1号便の前抜き便を開設するとしています。
- 4 **服務表**についてはルールに基づき必要な意思疎通を行なう。
- 5 **道順組立**は新潟中局の区分機を移管しないため、現行通り2パスを行なう。

地本では、以下の点について質しました。

- ① 新潟中局で実施する理由。
- ② 取扱物数の変動について。
- ③ 現在のゆうゆう窓口の取扱件数及びお客さま周知について。

- ④ 正社員▲5.0、定数を▲5.2削減する根拠及び曜日別人員計画表の現行、改正案について。
- ⑤ 年休等の取得の見通しについて。
- ⑥ 現在員数と計画人員数との乖離について。
- ⑦ 新潟中央局に要員措置を行なわない理由について。
- ⑧ ダイアグラムの変更とサービス改正の整合性について。
- ⑨ 旧郵便局会社の郵便窓口への影響について。

これに対して支社は、

- ① 郵政再生ビジョンの施策の一つであるネットワーク再編の構想は、「新統括局(仮称)」に全ての一般局の郵便内務事務を集中させることにある。新潟中局を選定した理由は、その構想の一環にあり差立物数及び新潟中央局からの距離等を考慮し選定した。
- ② 取扱物数は普通通常の差立物数が▲12,325通(平均)となるが、ケース格納及び押印は行なう。その他、輸送容器の到着、差立業務が不要となる。
- ③ ゆうゆう窓口での取扱件数は変更するとしている午前8時から午後8時は平均314通、それ以外は33通となっており、お客さまへの周知活動を徹底することにより混乱は避けられる。
- ④ 深夜勤務での業務を廃止することにより、計画人員表のように配置できる。内訳は、課長代理▲1.0、一般で▲3.0、非番で▲1.0の計▲5.0、時間数定数の一般で▲2.4、非番日▲2.8の計▲5.2を提示した。
- ⑤ 年休要員は10日/週の配置しており、合計で520日を確保。正社員17人×26日(年休20日+夏期・冬期休暇3日)=442日であり取得可能。
- ⑥ 当該支部へ別途説明。
- ⑦ 差立物数は12,325通であり、区分機は30,000通/Hの処理能力があるため、所要時間は25分程度であるため、現在の新潟中央局の通常業務に組み入れることは可能。
- ⑧ 深夜勤務を廃止するが5時台到着の運送便があるため、5時台出勤で対応願いたい。なお、本部・本社間で整理し、協約改定を行なうものとする。
- ⑨ 旧郵便局会社の郵便窓口への影響は発生しない。

以上確認し地本段階では整理しましたが、今後の扱いについて記します。

- ① 12月6日(木) 具体的要員措置計画提示
- ② 12月21日(金) までに意見表明(業務運行計画並びに要員措置計画)
- ③ 来年1月中旬 大綱整理予定
- ④ 支部労使委員会及びサービス交渉

なお、要員協議の実施方法については、具体的要員措置計画提示時において改めて

指導します。

また、本日以降、新潟支部・中郵便分会へ地本オルグに入りますので、体制を構築するよう要請します。

【労使対応】 大綱整理以降、当該における支部労使委員会及び服務表交渉